

広島国際学院大学自動車短期大学部

平成18年度第三者評価

機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

広島国際学院大学自動車短期大学部の概要

設置者	学校法人 広島国際学院
理事長	鶴 素直
学 長	今村 詮
A L O	益永 茂治
開設年月日	昭和39年4月1日
所在地	広島県広島市安芸区上瀬野町517-1

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
自動車工業科		130
	合計	130

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

専攻	入学定員
整備工学専攻	10
	合計 10

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

広島国際学院大学自動車短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成17年6月23日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

確立した建学の精神・教育の理念、明確で具体的な教育目的と目標が共通に理解されて、教育が実践されている。

教育目的は明確であり、その目的を達成するために、教育課程は体系的に編成されている。また、学生の多様なニーズに応えるため、基礎教養科目で9科目、専門科目で22科目の選択科目を開講している。そして、毎年授業内容、教育方法の改善を行っている。

専任教員数は16名であり、全員が短期大学の教員にふさわしい資格と資質を有している。図書館、講義室、演習室、実習室など教育環境が整備され、十分に活用されている。

教育目標の達成への全学的で精力的な取組みが推進され、着実な成果を上げている。その教育成果の高い評価として、自動車整備士の高い資格取得率と自動車整備業界からの高い水準の求人および専門職への就職率が維持されている。

入学支援として、入学志願者に対して多様な情報提供を行っており、相談体制も整っている。学習支援についても組織的かつ精力的に行われている。また、学生生活支援および進路支援体制も整備され、実績も上がっている。

研究環境についても各教員に定額の個人研究費が支給され、また、研究日が週に1日、年間30日上限の指定休日認められている。

短期大学としての社会的活動への取組みは、広島市との官学共同活動や地域との連携として復元バス事業に関わるなど、地域の活性化に貢献する姿勢がみられ、また、高等学校への出張授業など交流活動も盛んであることから、積極的な取組みが推進されていると考えられる。学生の社会的活動は、学友会中心のボランティア活動があり、学事課をはじめ短期大学の指導体制が深く関与しているものと思われる。

理事長を頂点とする管理運営体制が確立しており、理事会、評議員会にはそれぞれ短期

大学の教職員がメンバーとして入っており、円滑な大学運営が行われている。また、短期大学としても、学部運営会議を月2回開催して意思の疎通を図るとともに、重要事項は規則に則り、教授会で審議するなど適切な運営が行われている。事務職についても、少ない人員で大学と連携し、適切に業務を遂行している。

予算編成および執行は各規程に基づき適正に業務が遂行されている。財務内容は学校法人、短期大学ともにおおむね健全性を維持しており、財務情報の公開についても、私立学校法の改正の趣旨に則り、インターネットのウェブサイトに掲載している。施設整備については短期大学に必要な施設設備が整備され、各種管理規程に基づき適正に管理されている。また、危機管理対策などもおおむね適切に講じられている。

自己点検・評価活動の実施体制（規程、組織など）は確立しており、平成11年度以降4巻の自己点検・評価報告書を作成し、短期大学部内外に公表している。また、相互評価についても、平成14年度に愛知工科大学短期大学部との間で実施しており、今後も規程など整備して他短期大学との相互評価を希望しており、積極的である。

2. 優れていると判断される事項など

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

法人寄附行為の規定に、建学の精神に則り人間愛に基づく教育を行うことが法人の目的であると明記されており、建学の精神に基づいた教育への強い想いが認められる。

評価領域 教育の内容

教育ツールおよび授業法の共有活動、習熟度別授業の実施、資格取得支援のための個人指導、再履修科目の設定など教育効果向上の努力が組織的に行われている。

授業アンケートによる学生の満足度に配慮し、授業改善の認識と質的改善を目指し、分かり易い授業への不断の努力をしている。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

教育目標に設定されている資格取得（自動車整備士国家試験）支援に対して全学で力を入れており、合格率は二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、一級自動車整備士とも毎年ほぼ全員合格の実績をあげている。

評価領域 学生支援

多様な委員会や組織による全学的で精力的な学生支援が行われている。特に、個々の学生を受け持つチューター制度により、学生に対する入学支援、学習支援、進路支援が懇切丁寧かつ精力的に推進され、大きな実績を上げている。

評価領域 社会的活動

広島市との官学共同活動や地域との連携として復元バス事業に関わるなど、地域の活性化に貢献する姿勢がみられる。

評価領域 管理運営

事務職に人事評価制度を導入し、組織の活性化を図っている。

評価領域 財務

私立学校法の改正に伴い、財務情報をインターネットのウェブサイト公開している。

評価領域 改革・改善

第三者評価制度が施行される以前の平成14年度に、既に愛知工科大学短期大学部との間で相互評価を実施し改善に努めている。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

すでに実施している卒業生アンケートを一層拡大することにより、現在の取組みをさらに発展させ向上・充実されることが望まれる。

評価領域 学生支援

多様な学生（社会人学生、留学生など）に対する特別な支援について、一層の努力が望まれる。

評価領域 研究

専任教員の論文など外部に向けた一層の研究業績への取組みの活性化が望まれる。

評価領域 管理運営

各種委員会は活動しているが、規程（則）のないものがあるので、規程（則）を整備するとともに実績記録（議事録）なども作成して活用するのが望ましい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神「教育は愛なり」および教育の理念「信和、協同、実践」が確立している。教育目的「国家資格を有する自動車整備士の育成」および7項目からなる具体的教育目標「二級自動車整備士支援、一級自動車整備士支援、進路決定支援、教育内容の改善、学生の満足度向上、留年・退学者の低減、各種資格試験の合格率」が明確に示され、定期的に点検されている。

教育の目的・目標は定期的に学生および教職員に提示されている。また教育目標は理事会で法人の事業として承認され、共通に理解される努力がみられる。

評価領域 教育の内容

教育目的は明確（二級自動車整備士資格と幅広い教養に基づいてあらゆる場面に対応できる人間性と応用力を有し、社会で評価される自動車整備士の養成）であり、その目的を達成するために教育課程は体系的に編成されている。

教育課程は国土交通省認定科目（すべて必修科目）のほかに、基礎教養科目で9科目、専門科目（学科）で16科目、専門科目（実習・演習）で6科目が選択科目であり、学生の多様なニーズに応えるものとなっている。

授業内容、教育方法および評価方法はオリエンテーション時に配布される履修要項に明らかにされている。

教育課程の見直しは、毎年度末に授業担当者の意見、学生や企業からの要望を集約し、教授会で審議決定している。平成14年度に1科目開講、平成15年度には3科目開

講、8科目閉講、平成16年度には2科目開講している。

評価領域 教育の実施体制

専任教員数は16名（短期大学設置基準では12名）であり、全員が短期大学の教員にふさわしい資格と資質を有している。特に、資格取得（自動車整備士国家試験）支援に対して全学で力を入れており、合格率は二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、一級自動車整備士とも毎年ほぼ全員が合格である。

短期大学の保有する校地の面積は短期大学設置基準の規定を充分満たしており、校地は教育環境として適切に整備されている。また、それぞれの授業を行うにふさわしい講義室、演習室、実習室は十分に用意されている。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定の方法、学習評価も適切であり、学生による授業評価をフィードバックして、教育目標の達成への努力が認められる。資格取得の支援への熱心な取り組みが行われ、自動車整備士関連では、ほぼ全員が合格、十分な実績を上げている。

資格に基づく専門への就職は優れた実績をあげている。教員が就職先の採用人事担当と面談し評価などの意見を聴取している。来校した卒業生に対してアンケートを平成17年度から試行的に実施している。

評価領域 学生支援

建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標、望ましい学生像、入学者選抜の方針、多様な選抜方法について様々な印刷物に明示し入学志願者に配布している。

学年別全体のガイダンスのほかにチューターによるガイダンスが懇切丁寧に行われている。また、基礎数学、自動車工学演習で少人数クラス制の習熟度別授業による学習支援が推進され、さらに、再履修科目、二級整備士講習会の個人指導も行われている。そのほか多くの学習支援が広範かつ組織的に行われている。

教員による各種委員会と学事課、庶務課、就職課で組織的な生活支援が行われている。例えば、学生のキャンパス・アメニティに対する十分な配慮が行われており、通学のための便宜も図られている。さらに、メンタルケアや健康管理の体制、大学独自の経済的支援制度などによる学生生活の支援が行われている。

就職委員会、就職課を中心に就職支援の組織が整備され、適切に活動している。また、就職のための資格取得、就職試験対策などの支援も充分に行われている。

受け入れ留学生が数名であるため個別的な対応がとられている。

評価領域 研究

専任教員の学会発表、論文掲載など外部への研究活動はあまり活発とはいえませんが、学内に向けては、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会への報告を通じ、授業の工夫にいかされている。

研究室が整備され、研究費についてもほぼ十分な予算がとられている。機器備品など研究費の支出状況はおおむね順調に支出されている。

評価領域 社会的活動

専門分野である自動車工学や自動車整備に関する領域での社会貢献が目指され、具体的な取組みにつながっている。

ボランティア活動など、学生の社会的活動に関しては、学友会を中心とした献血やクリーンキャンペーンに具体例がみられ、これには学事課を主とした短期大学の関わりがあるものと考えられる。

短期大学としての社会的活動への取組みは、広島市との官学共同活動や地域との連携として復元バス事業に関わるなど、地域の活性化に貢献する姿勢がみられ、また、高等学校への出張授業など交流活動も盛んであることから、積極的な取組みが推進されていると考えられる。

評価領域 管理運営

理事会、評議員会は、寄附行為の規定に基づき開催され、理事会が学校法人の意思決定機関として適切に運営されている。監事は理事会、評議員会に出席して意見を述べるとともに決算の監査など業務を適切に実施している。理事長は重要事項に関する各種審議に参加して関与するなどリーダーシップを発揮している。

教授会は学則に規定されており、重要事項は予め学部運営会議で議論した後、教授会で審議するなど短期大学の運営体制は確立されている。ただし、教授会の下に各種委員会があるが、規程（則）がないのは改善されたい。

大学と連携し、各機能を発揮できる事務組織となっており、業務も適切に遂行されている。

教職員の就業などに関する諸規程は整備され、これに基づき人事管理は適正に行われている。また、理事の数も妥当であり、学校法人と教職員が協力する体制が整っている。

評価領域 財務

事業計画ならびに予算は、短期大学および大学の関係者、監事、評議員会および理事会がそれぞれ予算決定の段階で適切に関与して決定され、執行も適正に行われている。また、財務・経理・出納の各業務も必要な承認手続きのもと適正に実施されており、財務の運営は円滑、適切に行われている。

短期大学は、過去3年間とも消費支出比率および教育研究費も妥当な水準を維持しており、財務体質は健全である。学校法人は過去3ケ年、消費支出超過の状態ではあるが、人件費・管理経費の節約などにより平成17年度は大きく改善されている。また、総負債率は減少している。

固定資産台帳、備品台帳などは整備され、それぞれの管理規程も整備され、施設設備の管理は適切に行われている。また、危機管理対策特に火災の避難訓練、コンピュータシステムのセキュリティ対策もおおむね講じられている。

評価領域 改革・改善

現在の目標管理活動を主体とした自己点検・評価活動は、短期大学運営全般の改革・改善には不十分と認識し、目標管理活動主体の改革・改善の上に自己点検・評価活動を位置づける形態とする体制整備と実行を推進している。